

令和6年度第3回地域福祉活動計画策定・推進評価委員会 会議録（要旨）

1 開催日時

令和6年11月21日（木）午後6時30分～午後8時30分

2 開催場所

練馬区役所 多目的会議室

3 議事要旨

(1) 事務局長挨拶

案の段階では提示できる最後の機会。これまでの委員の皆さまのご協力のおかげで整ってきた。これまでのご協力に感謝申し上げます。社協の職員もオブザーバーで多数参加している。来月には説明会を実施予定であり、今回も忌憚のない意見をいただき、案をよりブラッシュアップできたらと思っている。

(2) 配付資料確認

当日、以下4点を机上配布。

- ・練馬区地域福祉計画素案
- ・地域福祉活動計画本編バージョンの木のイラストページ
- ・地域福祉活動計画概要版案
- ・説明会資料（パワーポイント）

（これより進行を委員長に交代し、議題に沿って進行。）

(3) 練馬区地域福祉計画進捗状況報告

委員より口頭報告。

- ・新たな地域生活の課題に対応するため、二つの計画を包含し地域福祉計画として制定。
- ・「第3次みどりの風吹くまちビジョン」を上位計画とし、子ども、高齢者、障害者などの各福祉分野に共通する考え方を示す計画として位置づけ。
- ・5つの施策と取組項目について説明。

施策1：区民との協働と地域の支え合いを推進する

施策2：誰もが安心して生活できる環境を整える

施策3：再犯を防止し安全安心な地域社会を実現する

施策4：ハード・ソフト両面からのユニバーサルデザインのまちづくりを推進する

施策5：権利擁護が必要な方への支援を充実する

- ・今後の流れ

12/11～パブリックコメントを募集（12/11区報でも周知）

【質疑応答・意見】

特になし

(4) 第6次地域福祉活動計画策定に向けて

事務局より変更点を中心に説明。

●4章の全体像の説明

- ・14ページ認める→認め合う
- ・15～16ページ前回頂いた意見を参考に、それぞれの説明文言を修整木のイラスト（本編バージョン）で、柱と推進力について一体的に表現。
- ・17～18ページ体系図、ハッシュタグの文言を修正。

●変更点

ページ	項目	変更ポイント
03～04	目次	資料1-1に差し替え
2～3	第1章	図・イラスト追加、見出しを見やすく変更
4～10	第2章 第3章	意見を踏まえて、森委員に修正を依頼 ※6ページの見出しが印刷されていないため、資料1-2に差し替え
11～12	報告	リード文をつけて、地域福祉コーディネーターの実践報告であることをわかりやすく表現。文末ではこの取り組み限定ではないことを強調。
17～18	計画の体系図	・「共に生きる力」を育む福祉教育を柱3の項目9→柱1の項目3へ移動（再掲） ・認める→認め合う（再掲）
22	項目2	文章、レイアウト変更
23～24	項目3	柱3項目9からの変更（再掲）
26	項目4	事例を1つに絞り、イラストを挿入して読みやすさを重視
27	思いがつながり大きな力に	民生・児童委員を追加
31～32	こまねり	大幅な見直し
34	項目6	レイアウト変更
35～36	項目7	中高生への取組みを追加
39～40	項目9	「はたらく」に統一、読みやすさのために見出しつける
41	評価	第5次地域福祉活動計画時の評価と大きな変更はないことを記す

●19ページ以降取組項目の紙面割に関する説明

- ・左ページ→現状と課題、地域での取組み、練馬区社協の取組み
- ・右ページ→実践、当事者の声、エピソード

部署ごとに作成しているため、文体などに差があるかもしれない。目指す姿の表現などについてもご意見をいただきたい。

●本編について質疑・感想

項目	質疑・感想	回答
木のイラスト		概ね賛同を得る。

取組項目のレイアウト	①右ページで紹介している意図が伝わりづらい。目指すものが既に地域に芽生えていることが伝わるように、共通のタイトルをつけてはどうか。 ②33ページ以降のレイアウトは視認性が高い。	①共通することがわかるようにアイコンなどを検討。
内容	①地域で活動している団体のことを知らない人も多くいるので、団体のことが伝わる内容で良い。 ②同じ内容の繰り返し、まだ減らせる。もし可能であれば、数値目標を入れてもらいたい。 ③地域福祉コーディネーターの説明について。1～2ページの説明でわかりやすくなった。	記載内容が重なっている部分については精査。数値化については、目指す姿で示しているのので、評価の中で数値化できるものについては対応。
デザイン	①31～32ページ下の緑のラインの意味について ②エリアで分けて見せる等改善がみられていると感じた。具体的でわかりやすくなった。 ③フォントのばらつき	①つながりを表現 ③デザイナーを入れて統一
その他	①みどり（緑）→みとり（看取り）	誤字修正

(5) 第6次地域福祉活動計画概要版（案）について

事務局より、資料2を用いて説明。

- ・第6次地域福祉活動計画においても概要版作成。
- ・本編同様あらましを伝えるとともに、広く住民に手に取ってもらう冊子でもあり、より広く参加を呼びかける意図をもって作成する。
- ・イラストは今後デザイナーを入れて、ブラッシュアップする。

●構成(案)

- ・表紙：イラストは本編と合わせる。
下段に社協の基本理念と地域福祉活動計画に関する説明を加えている。
- ・2～3ページ：3つの柱と3つの推進力。
イラストは本編と共有しているが、説明はより簡潔に表記。二次元コードを掲載し、社協ホームページの該当ページに飛べるようにする。
- ・4～5ページ：9つの取組項目と目指す姿を説明。
- ・6～7ページ：参加を促す身近な事例を例示。住民参加の後押しをする事例を掲載。
事例については、今後精査する予定。
- ・裏表紙：連絡先を掲載。

●概要版に関する質疑

項目	質疑・感想	回答
取組項目のレイアウト	①字が読みづらい。本編の17ページの体系図があるとわかりやすい。 ②体系図の方が見やすいが、案外読み流してしまうので、変えた方がいいこともある。 ③レイアウト次第で、読みやすさとデザインの両立は可能ではないか	デザイナーも含めて見やすさは工夫していく。 取組項目が一つひとつの葉っぱとなって育てていくストーリー性も大事にして進めていく了解を得る。

<p>内容</p>	<p>【事例について】 ①事例は「認め合う」が伝わるもの、「知る」等認め合う感のある事例を載せると良い。困難を抱える人に対して守るだけの存在ではないことを「知る」。その人たちの持つ良いところや強みがあるけれど、活躍できる機会をつくっていないだけ。もっと「知る」を前面に出した方が良い。 また、イベントに「参加する」のエピソードを読んでみて、車椅子の人が参加することで地域の中で目にする機会が増える、そのことが「認め合う」にもつながることを感じた。「認め合う」を軸にするためにも「参加する」も大事。 ②参加を促すだけでなく、色々な生活課題をみんなで解決している事例を載せた方がいい ③募金より先に「違っている同士が知り合う」ことが先なのではないか。</p> <p>【ねりま社会福祉法人等のネットについて】 ④「社会福祉法人等のネット」についてわかりづらい。</p>	<p>【事例について】 参加しやすさに重きを置いて今回事例を選択したが、今後意見を踏まえて精査していく。</p>
<p>デザイン</p>	<p>①絵本を見るような形のもので良いのではないかと色々伝えてきたが、わかりやすくなっている。 ②カラフルで何が書いているか、気持ちを引き付ける効果は十分出ていると思う。</p>	

(6) 地域福祉活動計画説明会について

事務局より資料3及びパワーポイント資料を使って説明。

- ・変更点：練馬の会場がココネリ研修室1から産業イベントコーナーへ変更。
- ・当日、委員の皆様にもご協力いただき、これまで策定委員会に関わってきた感想などもお話しいただきたい。
- ・説明会で使うスライドを実演

項目	質疑・感想	回答
<p>ねりま社会福祉法人等のネット</p>	<p>①どういう社会福祉法人があるのか等、具体的な例を入れて、補足が必要だと思った。 ②「等」がないと、法人格がないと入れないネットワークになってしまう。「等」が入ることで、幅広く連携をしていくことを可能にしたと理解した。 ③「等」がついても、法人格がついていないとだめと感じていた。 ④推進力と書いてあるので、専門性を持った法人や人を想定していると思っ</p>	<p>・「等」には、社会福祉法人の集まりだけでなく、地域をよくしていくために連携を図りたい人（民生委員など）・団体も含まれている。その中でも社会福祉法人は専門性をもっている団体であり、ネットワークを組むことで団体間・分野を超えて地域の課題を解決する取り組みをしている。例えば、地域のお祭り等で「福祉何でも相談」を実施して</p>

	<p>ていた。 ⑤説明文をもう少し丁寧に書いた方がいい。</p>	<p>いる。今後は、社会福祉法人以外の人・団体との連携を考えている。 ・社会福祉法人は法律で社会貢献を義務付けられている点に違いはあるが、同じ思いを持っている人・団体も排除するものではないという意味で「等」をつけている。</p>
<p>わかりやすく伝えるために</p>	<p>①地域の方に説明していくには、「包括的」など言葉が少し難しいのではないかな。地域課題ってどんなことがあるかなど、例を入れた方がわかりやすいのではないかな。 ②福祉の世界にいる人はわかるけれどそうでない人には伝わりづらい。初めての方を想定して、例を入れた方がいい。 ③地区ごとの身近な事例を紹介すると、その後の質疑応答で意見が出やすいのではないかな。 ④木のイラストも活かして、説明会中掲示するなどしたほうが何を伝えたいのかぶれずにいいのではないかな。</p>	<p>・表現を具体的にするなど、内容を検討したい。 ・地区ごとに特色などを示して、説明を行いたい。</p>

(7) その他

説明会に向けたエールをお願いしたい。

(副委員長)

パワーポイントの資料については、もう少しわかりやすく短めにしてほしい。第5次計画については、縮められるのではないかな。法人等ネットの等に対する説明を丁寧に、社会福祉法人以外にも膨らみを持っていることが伝わるように修正した方が良さそう。大変だと思うが頑張ってほしい。

(委員長)

パワーポイントについては修整予定とのこと。委員の挨拶も予定されているので、委員も頑張ってほしい。事務局もこれまで大変な思いをしていると思うが、最後の頑張りを見せてほしい。

4 次回日程

- ・日時：令和7年2月28日（金）
- ・場所：練馬区役所 多目的会議室